

湖西線に防風柵増設

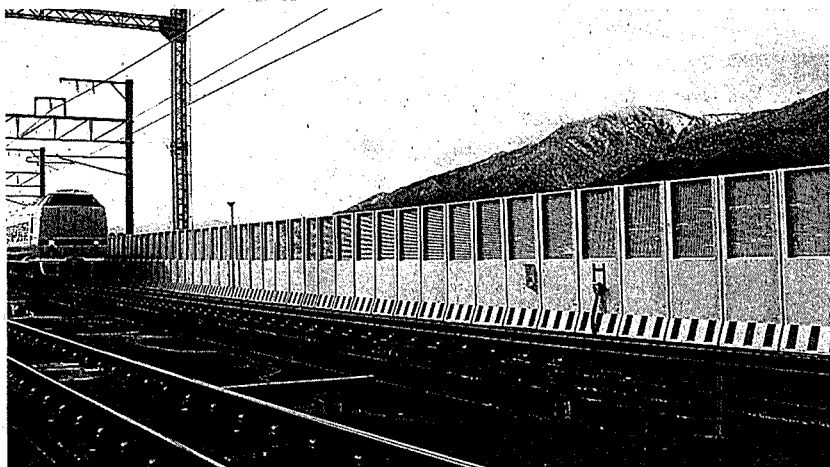
ダイヤ乱れ改善へ

高島市、定住促進効果も期待

強風によるJR湖西線のダイヤの乱れを解消するため、近江舞子―北小松間に新たに約1・3キロの防風柵が設置され、31日、大津市南小松の近江舞子駅で、工事の完成を祝う記念式典が開かれた。嘉田由紀子知事や沿線の天津、高島の両市長ら約30人が出席。あいさつに立ったJR西日本の二階堂暢俊・京都支社長は「運転見合わせの時間は大幅に減り、より安定した輸送サービスを提供できる」と力を込めた。

1974年に全線開通した湖西線は、冬から春にかけて比良山系から吹き下ろす強風「比良おろし」に悩まされてきた。

JR西によると、79年には北小松―近江舞子間で徐行中の貨物列車が突風で脱線。事故防止のため、強風時の規制が厳しくなり、運転見合わせが相次ぐようになった。2010年度の堅田―近江塩津間の運転見合わせは12日間で延べ16時間に上り、1万1000人が影響を受けた。



完成した新しい防風柵＝JR湖西線近江舞子―北小松間、JR西日本提供

近江舞子―北小松間の1.3キロ完成 運転見合わせ：延べ16時間→2時間に

沿線自治体などから要望を受けたJR西は、2008年12月までに比良―近江舞子間の山側2.09キロに鋼製の防風柵を設置。さらに、昨夏から5億円をかけて、北小松まで約1・3キロ北へ延伸させる工事に取っかかり、この日までに完成した。

柵はレールから2層の高さまであり、約60%の風を遮る効果があるという。JR西は防風柵の延伸に伴い、2月1日から強風規制値を緩和する区間を拡大。この結果、運転見合わせは2日間で延べ2時間にとどまる見込みで、影響を受ける乗客も2700人にまで減るといっている。また、昨年4月から今年1月にかけて、強風のため、琵琶湖線へ迂回したサンダーバードなどの特急は131本あったが、これもほとんどなくなる見通しだ。

高島市は、ダイヤの乱れが働く世代の市外流出につながっているとみて、防風柵の設置を要望し続けてきた。市民活動支援課の高木正課長は「就職試験で面接官から『高島から朝ちゃん通勤できるのか』と言われた人もいたと耳にした。若い人たちに住んでもらうには通勤、通学の利便性向上は必須。防風柵の設置を追い風に、定住促進を図りたい」としている。

(堀川勝元)

びわこ学園の特別加算費

負担する市としない市の不平等も広がる」と述べ、市長会に対し、今年度中に

「犯罪多発警報」知事

実践県民会議 全国初の

県や県警、県防犯協会などでつくる「なごろう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議(会長・嘉田由紀子知事)の総会が31日、県庁であり、犯罪が多発して住民に不安を与える恐れがある場合に「犯罪多発警報」を発令する制度を設けることを決めた。知事が発令する制度は、全国初という。

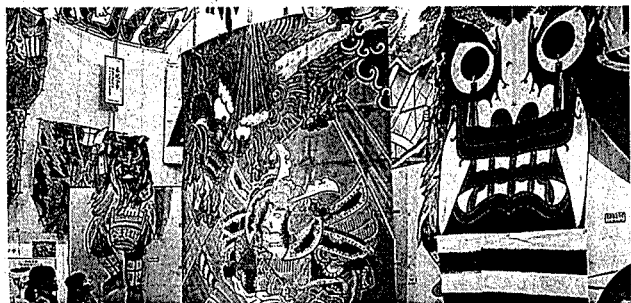
新制度では、性犯罪や高齢者を狙った振り込め詐欺、幼児への声かけといった「社会的弱者」が対象に

なる犯罪が可能性がある場合に、パトロール、住民へ

は、2008年3月をピークにあるが、昨の「声かけ」増の76件、女まとい」が100件、「振りこめ」増の42件に

鮮やか「鬼」雄姿続々

東近江で各地の凧46点 展示



2月3日の節分に合わせ、鬼をテーマにした凧を展示した特別企画「鬼の凧展」が東近江市八日市東本町の八日市大凧会館で開かれている。

会場には、16都道府県から集めた46点の鬼の凧を展示。山口県の「見島鬼ようず」は、男児が生まれたときのお祝いに掲げる凧で、厳格な表情の鬼の目から

当初

越・大津、ヒアリ、

大津市の日、各部署(業について、き取り)をし、市ストに盛り